

平成30年8月 1日
西部農林振興センター 県央事務所 農業普及部

標 題	高校生が語る農業の身近な問題や将来の問題についての抱負や意見 ～島根県学校農業クラブ連盟意見発表県大会～
-----	---------------------------------------------------------

(ダイジェスト)

7月18日、邑南町矢上交流センターにおいて、島根県学校農業クラブ連盟意見発表県大会が開催され、県内5校の生徒により、3つの分野で計15名の発表があった。

農業高校への進学は子供のころの体験がきっかけなど、後継者の確保や育成に参考となる意見であり、発表内容はもちろん、発表のしかたなど素晴らしいものであった。

島根県学校農業クラブ主催により、7月18日(水)、邑南町矢上交流センターにおいて、意見発表県大会が開催されました。

意見発表会は、クラブ員の身近な問題や将来問題について抱負や意見を交換し、クラブ員3大目標を高めるとともに、主体的に問題を解決する能力と態度を養うことを目的とし、3つの発表分野（Ⅰ類：生産・流通・経営、Ⅱ類：開発・保全・創造、Ⅲ類：ヒューマンサービス）に分かれて、各分野とも5校より1名の発表がありました。

発表内容の中には、

- ・【本物】を受け継ぎ、守り続けるため、ブドウ農家になりたい
- ・祖父がお米作りをしており、小さいころからの手伝いや高校での活動が農業に携わりたい思いにつながっている
- ・「しまね留学」を利用し入学した学校で、



環境に与える負荷を最小限に抑える農業の取り組みと推進が大切と感じているなど、新鮮な意見や夢を原稿を読み上げることもなく、聴衆をみながら発表する態度は高校生らしく、素晴らしいもので、感動しました。

それぞれの分野の最優秀賞者は、中国ブロック大会で島根県代表者として発表されます。

(最優秀賞)

- | | |
|------------------------------|-----------|
| Ⅰ類：「そうだ！ブドウ農家になって地元で起業しよう！！」 | 出雲農林高校1年生 |
| Ⅱ類：「地域の方々に支えられて」 | 益田翔陽高校3年生 |
| Ⅲ類：「出雲コーチンの広がる可能性」 | 出雲農林高校3年生 |